

情報通信部会長報告

1. 事業名 DX事例紹介セミナー
2. 内容 **県内企業におけるDX・デジタル化等の取組状況を把握するとともに、先進事例の紹介によりDXへの理解を深め、業務への導入における疑問点を解消し取組を促進するため開催した。**
3. 日時 2024年3月25日（月） 14：00～15：30
4. 場所 ANAクラウンプラザホテル
5. 出席者 43名（うちオンライン参加26名）
6. 情報提供
テーマ 「**県内企業におけるICT/DXの導入実態調査結果**」
講師 **（一社）秋田RPA協会 事務局長 理事 伊嶋 謙二 氏**
7. 講演
テーマ 「**システム導入による業務効率化と顧客対応強化**」
講師 **（株）コニシタイヤ 代表取締役社長 小西 和也 氏**

情報提供①

■（一社）秋田RPA協会の事業概要

県内企業の事業活性化と働き方改革等を目的に、**DXやRPAに関する技術導入支援**の活動を行っている。

【会員数】 20団体

【代表】 会長 齋藤 和美 氏（エイデイケイ富士システム株式会社 代表取締役）

■ 情報提供概要

【調査要項】

- **新型コロナウイルスの影響が続く中での企業の景況感とICTやテレワークに関しての実態について年1回の調査に加え、DXに関する取り組みについての設問項目を新たに追加して実施した。**
- **調査対象：県内に本社を有する民間企業の経営者・経営層、情報システム担当者**
- **調査期間：2023年6月16日～7月21日**
- **回収件数：有効回答188件**



情報提供②

【DXについて】

- 年々DXの認知度は高まっており今年は8割を超えた。実際に取り組んでいる事業所の割合も昨年の2割から4割へ大幅に増加した。
- 取組が進まない主な理由は「どうすれば良いか分からない」、「対応する人材が不在のため」と回答。

【IT人材について】

- 5割以上の企業が人材不足と回答。人材の確保時期や必要人数については、「分からない」と答える企業が半数近くを占めている。

【ChatGPTについて】

- 8割は認知しているものの、利用率は2割。今後の利用については、半数近くが「様子見」と回答。

【調査結果から考察】

- 今回の調査結果から、IT/DX人材の教育・育成・サポートは企業にとって重要な課題であり、この課題を克服することが、企業における次世代AI等の効果的な活用にもつながると考えられる。

講演内容①

■ (株)コニシタイヤの事業概要

タイヤ&ホイール専門店です。国内外問わず豊富なメーカー商品を取り扱っています。

【代表】 代表取締役社長 小西 和也 氏

【従業員数】 27名

【拠点】 本社・ショールーム（土崎港西2丁目）、予約制取付工場、倉庫（4箇所）

■ 講演概要

【デジタル化に至った経緯】

- **ピッキング作業、ECサイトの出品作業や顧客データ管理**などの業務が手作業や紙伝票で行われていたため、**効率が悪く従業員の負担が大きかった**。また、**繁忙期の人材不足による販売機会への損失が発生していたためデジタル化に踏み切った**。



講演内容②

【販売・在庫管理の効率化】

- **基幹システム**により、受注から取付け作業、支払いまでの**一連の情報を一元管理**することができるようになり、**手作業や紙伝票が減った**。
- **ハンディ端末**により、ピッキング業務や商品入荷時の入庫作業を**アウトソーシング**化ができ、**販売業務に集中**できるようになった。

【ECサイト出品作業の効率化】

- **出品～出荷までの一連の作業をRPAにより自動化**することによって**作業時間が減少**した事に加えて、**出品数も以前の20倍**となった。

【今後の取組予定】

- **無線通信でタグのID情報を読み取る「RFID」**や、**AI等の導入**により、さらに**効率良くミスが少ない商品管理**を行いたい。
- 今後の展望としては、**モール型ECサイト**を利用しているが、**商品の購入～タイヤの取付予約まで可能な自社サイトを構築**したい。